

オートバックス オープンマスターズカート

2009 シリーズ

特別規則書

公 示

本大会は、FIA 国際モータースポーツ競技規則・国際カート規則ならびにそれに準拠した JAF 国内競技規則・JAF 国内カート競技とその規則及び各コース特別規則書更に本大会特別規則書・付則に従って開催される。

第1章 大会開催に関する事項

第 1 条：競技会の名称

オートバックス オープンマスターズカート 2009 シリーズ

英文表記：AUTOBACS OPEN MASTERS KART 2009 SERIES

第 2 条：競技の種目・クラス区分と格式

第一種競技車両及びリブレ車両によるスプリントレース

第 3 条：競技の格式

- ・ ARTA Challenge クローズド
- ・ KRP Junior クローズド
- ・ KRP Cadet クローズド

第 4 条：開催日程・場所及びオーガナイザー

ARTA Challenge 、 KRP Junior 、 KRP Cadet

- | | | | |
|-------|--------------|--------------------|---------|
| 第 1 戦 | 4 月 12 日 (日) | APG オートパラダイス御殿場 | (静岡県) |
| 第 2 戦 | 5 月 31 日 (日) | 新東京サーキット | (千葉県) |
| 第 3 戦 | 7 月 5 日 (日) | 猪名川サーキット | (兵庫県) |
| 第 4 戦 | 8 月 9 日 (日) | ツインリンクもてぎ 北ショートコース | (栃木県) |
| 第 5 戦 | 9 月 13 日 (日) | 鈴鹿サーキット国際南コース | (三重県) |

第 5 条：大会総合事務局・大会主催事務局

1) 大会総合事務局

有限会社ケーアールピー (KRP)

〒612-8471 京都市伏見区下鳥羽長田町 161

TEL : 075-612-1191 FAX : 075-612-1192

2) 大会主催事務局

各大会開催コースとする

第 6 条：大会役員及び競技役員

公式プログラムに記載

第 7 条：クレデンシャルの着用

- ・ 本大会に参加するドライバー、メカニックは場内では大会総合事務局が発行したクレデンシャルをつけなければならない。

第8条：大会の延期および中止

- ・「JAF国内カート競技規則」カート競技会組織に関する規定第1章 第6条に基づき、大会総合事務局は大会審委員会の承認を得て、大会の一部あるいは全部を延期、中止または取り止めることができる。大会の全部を中止あるいは24時間以上延期する場合は、参加料金は事務処理経費を差し引いた金額が返金される。ただし保険料は返金されない。なお、エントラントおよびドライバーはこれによって生じる損失について抗議する権利を保有しない。さらに大会主催事務局は審査委員会の承認を得て大会の内容を変更する権限も併せて保有するものとする。また、これに対する抗議は一切認められない。

第9条：公式通知に関する規定

- ・本規則書に記載されていない競技運営上の細則や参加者に対する指示、本規則発表後に生じた必要事項は公式通知によって示される。公式通知は
 1. ドライバー・エントラントに E-mail にて送信される。
 2. オフィシャルウェブサイトに掲出される。
 3. サーキットに設置する掲示板に掲出される。
 4. ドライバースブリーフィングで指示される。
 5. 緊急の場合は場内放送で伝達される。以上の方法によって参加者に通知される。

第2章 競技会参加に関する事項

第10条：参加定員

参加受付台数は以下の通りとする。

ARTA Challenge	無制限
KRP Junior	30～34台
KRP Cadet	30～34台

コースにより KRP Junior、KRP Cadet の参加定員は変わります。

第11条：参加資格

1) エントラント

- ・2009年度有効な JAF が発給したエントラントライセンス所有者であること。
または大会総合事務局が認めたエントラントであること。

2) ドライバー参加資格

- ・18歳未満のドライバーがエントリーする場合は、親権者又は保護者の出場承諾書を大会総合事務局に提出しなければならない。

ARTA Challenge

ライセンス：JAF ジュニア国内 B 以上又は JAF 国内 B 以上所持者
年 齢：中学2年生～20歳

KRP Junior

ライセンス：JAF ジュニア国内 B 以上又は SL カデット以上所持者
年 齢：小学4年生～中学3年生

KRP Cadet

年 齢：小学2年生～小学6年生

上記の年齢に加えて以下の内容を満たしていること

- ・親権者が 2009 年度に有効な JAF 国内ライセンス又は SL ライセンスを所有していること
ドライバー本人が SL ライセンスを所有している場合、親権者は上記ライセンスを所有していなくてもよい。
- ・カートショップ及びカート団体に所属していること
- ・レース経験を有すること

上記各クラス共に、他国のライセンスで上記内容と同等のライセンスの場合は、大会総合事務局が参加を認めた場合のみエントリーが可能。

第 12 条：参加申込先及び受付期間

- ・ ARTA Challenge ・ KRP Junior ・ KRP Cadet クラスのスポットエントリーの参加受付期間は各大会開催日 1 ヶ月前より大会 10 日前までとし、所定の用紙にて郵送又は FAX にて以下の申込先へ締切日必着で提出する。参加費用は現金書留又は大会総合事務局指定の振込先へ振込とする。ただし、大会開催日 5 日前以降の参加申込の場合は遅延として ¥2,000-(税込み)が参加料に加算される。

参加申込先(大会総合事務局)

有限会社ケーアールピー (KRP)

〒612-8471 京都市伏見区下鳥羽長田町 161

TEL : 075-612-1191 FAX : 075-612-1192

振込先

京都中央信用金庫 久我(こが)支店

普通 0 2 3 8 5 5 5 (有)ケーアールピー

- ・ レース当日現地にて提出するもの
 1. エントリー用紙 年間申込用紙とは別
 2. 車両登録申告書
車両登録申告書に基づき、車両検査に合格したものののみが競技に参加できる。
 3. エントリーフィー ARTA Challenge ・ KRP Junior ・ KRP Cadet
クラスのスポットエントリー以外

第 13 条：参加費用

1) ARTA Challenge 、 KRP Junior 、 KRP Cadet

- ・ 年間参加費用

ARTA Challenge ¥ 6 8 0 , 0 0 0 - (税 込 み)

KRP Junior ¥ 5 0 0 , 0 0 0 - (税 込 み)

KRP Cadet ¥ 4 0 0 , 0 0 0 - (税 込 み)

一般のレース同様に上記の 3 クラスは毎戦エントリーフィーが別途必要となります

- ・ ARTA Challenge、KRP Junior、KRP Cadet

エントリーフィー：¥ 2 0 , 0 0 0 - (税 込 み)

保険料 (ドライバー及びメカニックの保険代) を各サーキットへ各自でお支払下さい。

ツインリンクもてぎ、鈴鹿サーキット開催時に限りエントリーフィーの価格が上記の金額と異なります。又、共済費等の費用が必要になります。

- ・ スポット参加費用

ARTA Challenge ¥ 1 0 0 , 0 0 0 - (税 込 み)

KRP Junior ¥ 8 0 , 0 0 0 - (税 込 み)

KRP Cadet ¥60,000-(税込み)

保険料(ドライバー及びメカニック1人分の保険代)を各サーキットへ各自でお支払下さい。

上記費用に含まれるもの

・ARTA Challenge、KRP Junior、KRP Cadet

エントリーフィー、エンジン(各クラス1基)、タイヤ(1大会1set)

第14条：保険料

- ・すべての参加ドライバー及びピットクルーは「JAF 国内カート競技規則 第11章 第33条～第34条に基き、傷害保険に加入しなければならない。また練習時を含めて健康保険証を携帯する事。
- ・メカニック追加登録・保険料は、1名につき¥1,000-とする。

第15条：参加受理と参加拒否

- ・参加申込者に対して大会総合事務局より参加受理または参加拒否が通達される。
- ・参加を受理された後に参加を取り消す場合、参加料は返還されない。

第3章 エンジン及びカートに関する事項

第16条：参加車両

競技に使用するシャーシ、エンジン、及びタイヤは、車両申告書に登録済みの物のみとする。登録できる個数は下記の通りとする。

ARTA Challenge：フレーム1台、エンジン2基、タイヤ各1set(ドライ・ウエット)

KRP Junior：フレーム1台、エンジン1基、タイヤ各1set(ドライ・ウエット)

KRP Cadet：フレーム1台、エンジン1基、タイヤ各1set(ドライ・ウエット)

第17条：カート

- ・本規則のエンジンに関する事項で規定する当該エンジンを搭載し「2009年JAF国内カート競技車両規則」第2章に合致する第1種車両で、かつ以下の条件を満たすこと。
- ・JAF国内カート競技車両規則 第11条に合致するサイドボックス・フロントパネル・フロントフェアリング、を必要とする。
- ・バンパーは前後とも必備とし、その取付方法については「2009年JAF国内カート競技車両規則」第2章 第7条に従う事。
- ・チェーンガードは必備とし、その取付方法については「2009年JAF国内カート競技車両規則」第2章 第8条 17項に従う事。
- ・リアバンパーにはナーフバー(CIKバー)を必備とし、その取付方法については「2009年JAF国内カート競技車両規則」第2章 第7条 2項に従う事。
- ・NEWリアスポイラー(樹脂製)の装着は認める。

2009 JAF 国内競技車両規則第2章第7条3項に従う(13は除く)

- ・各クラスの車両規則は以下の通りとする。

ARTA Challenge、KRP Junior

- ・シャーシは自由とする。

但しホイールベースが**1030mm**以上の物とする。

フロントブレーキの装着は禁止する。

KRP Cadet

- ・「KRP Cadet 車両規則」の通りとする。

第 18 条：エンジン

ARTA Challenge：ROTAX 製 125 Junior MAX

KRP Junior：ROTAX 製 125 Mini MAX

KRP Cadet：SUBARU 製 EX21

レース用エンジン貸出に関する詳細

- ・エンジンは全参加者による公開抽選で振り分ける。
- ・抽選はレースウィーク土曜日の朝に指定場所にて行う。
- ・抽選に参加できない場合は、その都度、残りのエンジンを振り分ける。
- ・エンジンの交換は大会総合事務局が認めた場合のみ交換する。
- ・レース終了後は清掃し、貸出した状態で速やかに指定場所へ返却すること。
- ・不正を防止するためエンジンの各部には封印を施します。これが解かれた場合はペナルティを課す。それが不慮の事故であっても変わらないものとする。
- ・支給エンジンの全ての部品(ガソリンホースを含む)の変更、追加、加工は一切禁止する。必ず支給状態で使用しなければならない。

但し、イグニッションコイルが取り回しの関係上、正規の場所に付けることが出来ない時のみ、強固な金属ステーにより純正位置の穴を使い最小の移動で取り付けることを認める。

- ・クラッシュや焼きつきでエンジンが破損した場合、修理費用を請求する場合がある。

ARTA Challenge、KRP Junior

- ・本大会のエンジンレギュレーションは『ROTAX MAX Challenge テクニカルレギュレーション 2009』に準ずるものとする。

但し、上記の“レース用エンジン貸出に関する詳細”については本大会の特別規則とする。

第 19 条：エンジン貸出の際に含まれる物

ARTA Challenge

- ・エンジン ×2
- ・キャブレター(メインジェット) ×2
- ・マフラー ×1
- ・マフラー Springs ×2
- ・バッテリーホルダー ×1
- ・ケーブルハーネス(配線) ×1
- ・スイッチ類 ×1
- ・インテークサイレンサー(Ver.2のみ使用可) ×1
- ・インテークサイレンサーバンド ×1
- ・バッテリーチャージ ×1

各自で用意が必要な物

- ・バッテリー(ROTAXのレギュレーションに準ずるバッテリーに限る)
- ・マフラーステーKIT
- ・メインジェットKIT
- ・水温センサー(メーカーは問わない)
- ・エンジンマウント(アッパー、ロアは各自で所有する物を使用する)

KRP Junior

- ・エンジン ×1
- ・キャブレター（メインジェット） ×1
- ・マフラー ×1
- ・マフラー Springs ×2
- ・バッテリーホルダー ×1
- ・ケーブルハーネス（配線） ×1
- ・スイッチ類 ×1
- ・インテークサイレンサー（Ver.2のみ使用可）×1
- ・インテークサイレンサーバンド ×1
- ・バッテリーチャージ ×1
- ・インテークリストラクター
- ・チャンバーリストラクター

各自で用意が必要な物

- ・バッテリー（ROTAXのレギュレーションに準ずるバッテリーに限る）
- ・マフラーステーKIT
- ・メインジェットKIT
- ・水温センサー（メーカーは問わない）
- ・エンジンマウント（アッパー、ロアは各自で所有する物を使用する）

KRP Cadet

エンジン1基、マフラー、

エンジンマウント、ロアマウントは各自で所有する物を使用する。

第20条：スプロケット

ARTA Challenge、KRP Junior

- ・リアスプロケットのギア比を自由とする。
- ・フロントギアは13丁固定

KRP Cadet

- ・スプロケットのギア比は指定ギア比で固定する。
- ・スプロケットについては各大会前に公式通知にて発表する。
- ・フロントギアは19丁固定

第21条：キャブレター

ARTA Challenge、KRP Junior

- ・本大会のキャブレターレギュレーションは『ROTAX MAX Challenge テクニカルレギュレーション2009』に準ずるものとする。

但し、以下の内容については本大会の特別規則とする。

- ・キャブレターは大会総合事務局が支給するものを使用しなければならない。
- ・支給時に封印をする為、その封印が解かれた場合はペナルティを課す。
それが不慮の事故であっても変わらないものとする。
- ・支給キャブレターには1本のガソリンホースと1本のオーバーフローパイプが装着されている。いかなる場合もそれぞれの変更、追加、加工は一切禁止する。
必ず支給状態で使用しなければならない。
- ・ジェットニードルは"K98"のみ使用可能。変更は認められない。
但し以下のキャブレターのセッティング変更を認める。

メインジェットの変更

ジェットニードルのクリップ位置の変更

エアスクリューのセッティング

- ・支給されるキャブレターの仕様

アイドルジェット 60

アイドルジェットインサー 60

フロート 3.6g

ジェットニードル K98 (クリップ上から2段目)

KRP Cadet

- ・キャブレターのセッティング変更を認めない。
- ・支給時に封印をする為、その封印が解かれた場合はペナルティを課す。
それが不慮の事故であっても変わらないものとする。

第22条：排気装置

ARTA Challenge、KRP Junior、

- ・レースで使用できるマフラーは大会総合事務局が支給する封印されたもののみとする。
- ・本大会以外での使用を一切禁止する。もし発覚した場合はペナルティを課す。
- ・マフラー内の部品（消音カバー、消音材）を交換する場合、大会総合事務局もしくは技術委員長の承認のもと封印を解除しなければならない。又、交換後すみやかに再封印を得ることとする。

KRP Cadet

- ・レースで使用できるマフラーは大会総合事務局が支給するもののみとする。

第23条：プラグ

- ・スパークプラグは加工禁止とし、市販状態とする。

ARTA Challenge、KRP Junior

- ・NGK製 **BR8EIX**、**BR9EIX**、**BR10EIX**の3種類のみ使用可能

KRP Cadet

- ・NGK製 **BR6HS**のみ使用

第24条：ラジエター

- ・「JAF国内カート競技車両規則」第2章第8条27項28項に準ずる。温度調整する為にラジエターにテープを貼り付けることを認める。但し、テープを貼り付ける場合はテープが剥がれないようにラジエターにテープを1巻すること。また、シャッターカバーの取付けも認めるが、危険な構造であってはならず、堅固に固定されていなければならない。
- ・テープを貼り付けた場合、コース上でテープを剥がした場合はペナルティを課す。
- ・ラジエター液は水道水のみとする。不凍液等の使用は認めない。

第25条：競技ナンバー

- ・「JAF国内カート競技車両規則」第2章第9条に従った競技ナンバーを前後およびサイドボックス両側に取付ける。
- ・ARTA Challenge、KRP Junior、KRP Cadetの3クラスは大会総合事務局から配布したものを使用する。
- ・競技ナンバーは、大会総合事務局が指定したナンバーを、車検を受ける前に取付けなければならない。

- ・各クラスの下地・文字のカラーは以下の通りとする。

ARTA Challenge : ベース赤色、白文字

KRP Junior : ベース青色、白文字

KRP Cadet : ベース緑色、白文字

第 26 条 : タイヤ

- ・競技に使用するタイヤは次の通りとする。

ARTA Challenge

ブリヂストン製 ドライ : Y G K レイン : Y G R

KRP Junior

ブリヂストン製 ドライ : S L 8 3 レイン : Y G R

KRP Cadet

ダンロップ製 ドライ : S L 8 3 レイン : S L 9 4

- ・レース用スリックタイヤはレースウィーク日曜日の朝に支給する。
- ・レインタイヤは各自で用意すること。新品・中古を問わない。
- ・路面がウェットでスリックが使用できない場合でもスリックタイヤは支給します。
- ・タイヤに使用するエアとして窒素ガスを使用する事は認めない。
- ・各クラスのドライ・レインタイヤは各 1 セットとし、車検時に登録したものに限り、(1 大会 1 セットとする) 但し、不慮のトラブルの場合は技術委員長の承認のもと、車検場において不良のホイール・タイヤを持参し、中古品 (同等以下のもの) 1 本のみの交換が認められる。さらに交換したタイヤに問題がある場合、審査委員長・技術委員長が認めた場合のみ交換が認められる。

第 27 条 : ボディーワーク

- ・CIK-FIA (FMK) 公認フロントフェアリング/サイドボックス/フロントパネルの取付けを義務付ける。取付け方法はメーカー指定によるが、'97 CIK-FIA (FMK) 公認 '03 CIK-FIA (FMK) 公認のものを、相互利用する場合は技術委員長の承認または確認を得ること。
- ・リアバンパーにはナーフバー (CIK バー) を必備とする。
ジュニアフレームも装着すること
- ・NEW リアスポイラー (樹脂製) の装着は認める。
2 0 0 9 JAF 国内競技車両規則第 2 章第 7 条 3 項に従う (1 3 は除く)

第 28 条 : 最低重量

- ・各クラスの最低重量は下記の通りとする。

ARTA Challenge : 1 5 3 k g

KRP Junior : 1 3 5 k g

KRP Cadet : 1 1 0 k g

- ・最低重量を満たす為、バラストを積む必要がある場合はすべて固形材料を用い、車体にボルト・ナットで固定に取付けなければならない。

第 29 条 : 燃料

1) ガソリン

- ・「JAF 国内カート競技車両規則」第 2 章 第 8 条 19 項に則った通常のガソリンスタンドのポンプから販売されている無鉛ガソリンを使用しなければならない。
- ・レースウィークの土・日曜日に使用するガソリンに関しては大会前に公式通知に

て大会総合事務局が指定したガソリンを使用すること。

- ・レース終了後に上位4台のガソリン検査を行う。検査の結果添加剤等が混入されていたと判断された場合はペナルティを課す。

2) エンジンオイル

- ・通常市販されているもののみとし、それ以外の添加物の使用は一切認められない。
- ・ARTA Challenge、KRP Juniorのレースウィーク(土・日)に使用するエンジンオイルは大会総合事務局が支給する以下の銘柄のものを使用すること。

ARTA Challenge・KRP Junior

: ERG製 K-KART フォーミュラ SAE50

3) 検査

- ・ガソリンおよびエンジンオイルについて、予告なく抜き打ち検査(タンク内の燃料を採取する等)を行う場合がある。この場合、エンタラントは必ずその指示に従わなければならない。

第30条: 公式車両検査

- ・「JAF 国内カート競技規則・付則、規定カート競技会参加に関する規定」第3章第12条に基き車両検査が行われる。
- ・車両検査の日時及び場所は公式通知又はプログラムにて知らされる。
- ・ドライバーは車両検査に立ち会わなければならない。その際、装備に関しても「JAF 国内カート競技規則 競技会参加に関する規則」第3章第11条を適用する。また車両検査時において技術委員の点検を受けるものとする。
- ・規則に不適合な部分がありながらも技術委員に発見されなかったとしても承認を意味するものではなくレース中にそれに関する疑惑が生じた場合は旗の指示を受ける場合がある。
- ・レーシングスーツはCIK/FIK(FMK)公認またはJAF公認のものとする。
- ・「JAF 国内カート競技規則 競技会運営に関する規定」第8章第30・31条に基づき、計量ならびに再車検が行われる。
- ・各ヒート終了時には「JAF 国内カート競技規則」に定める必備の部分が備わっているもの。

第31条: 自動計測装置

- ・参加者は車両検査までに車両に自動計測装置を取付けなければならない。
- ・取り付けを拒否した場合、当該車両およびドライバーの出走は認められない。
- ・貸出しが行われた際、理由の如何を問わず万一破損・紛失した場合は各大会主催事務局側より請求される。
- ・計測装置の配布は選手受付時に行い、返却については全レース終了後1時間以内とする。

第32条: 封印

- ・封印が外れそうな(消えそう)状態になった場合は、事前に技術委員長に申し出ること。封印に関する故意の違反があった場合には当該競技会は失格とする。なお、違反の内容によっては当該年度の選手権の全得点を無効とする場合がある。

第4章 競技に関する事項

第33条：ブリーフィング

- ・参加全ドライバーはブリーフィングに出席しなければならず、ブリーフィングに欠席したドライバーはペナルティの対象となる。

第34条：公式練習

- ・「JAF 国内カート競技規則」カート競技会運営に関する規定第6章 第23条及び第24条に基づき、公式練習を行う。

なお、主催者より配布された自動計測装置を公式練習より取付けて走行する事を義務付けるものとする。

- ・ピットアウトしスタートラインを通過する前にコース上で停止した場合も公式練習に参加したものと認める。
- ・公式練習の出走順については特に定めないものとする。
- ・**大会総合事務局のマーキングがされたタイヤのみを公式練習から使用する事。**

(KRP Junior、KRP Cadet クラスのみ)

第35条：タイムトライアル

- ・全てのクラスにおいて参加ドライバーは、タイムトライアルに参加しなければならない。参加しない場合は、タイムトライアル失格とし、予選ヒートは最後尾スタートとなる。

- ・ARTA Challenge はタイムトライアルを2グループに分けて行う。

- ・グループ分けは公開抽選にて振り分ける。

- ・出走順はグループ1、グループ2の順番で行う。

- ・義務周回数は定めない。

- ・タイムアタックは原則5分間とし、ベストタイム方式とする。ドライバーは時間内にコースインする事はできるが、ピットインした後の再出走は認められない。

原則の5分間は天候等で時間を短縮する場合がある

- ・タイムトライアル時にベストタイムが同タイムの場合は当該ドライバーが記録したセカンドタイムを採用する。更に同タイムとなった場合もこれに準ずる。

- ・タイム計測ができなかった車両については最後尾よりスタートするものとし、複数台の車両がある場合はゼッケン順に配列される。

第36条：レースの方法

ARTA Challenge

- ・レース方式は各クラス以下の通りとする。

**公式練習 7分・TT 5分 予選ヒート セカンドチャンス プレファイナル
決勝ヒート**

KRP Junior・KRP Cadet

- ・レース方式は各クラス以下の通りとする。

公式練習 7分・TT 5分 予選ヒート1 予選ヒート2 決勝ヒート

周回数については各大会前に発表する。

レース方式は変更する場合がある。

第37条：予選ヒート

- ・予選ヒートのグリッドはタイムトライアルの結果により決定する。
- ・予選ヒート周回数は公式通知又はプログラムにて知らされる。

ARTA Challenge

- ・予選ヒートは3組に分けて行う。
- ・タイムトライアルでグループ分け(2組)を行った場合、一方の組の最速タイムと別の組の最速タイムの差が102%を超えない場合、出走したグループに関わらず、各ドライバーが記録した最速タイムを元に順位をつけ、この順位を元にAグループ・Bグループ・Cグループに分けて予選ヒートを行う。
- ・タイムトライアルでグループ分け(2組)を行った場合、一方の組の最速タイムと別組の最速タイムの差が102%を超える場合、1位は第1組の最速タイム(総合最速タイム)とし、2位は第2組の最速タイム、3位は第1組で2番目に速いタイム、4位は第2組で2番目に速いタイム、5位は第1組で3番目に速いタイム、以下同様に決定し順位をつけ、この順位を元にA・B・Cグループに分けて予選ヒートを行う。
- ・予選ヒートはA・B・Cの3グループが総当りで行う。
- ・それぞれの予選ヒートに下記のポイントが与えられ、その合計によりプレファイナル出場者を決定する。予選ヒートからプレファイナルに直接進めるのはヒートポイントの上位28台(APGのみ24台)で、それ以下はセカンドチャンスヒートへ進む。
- ・予選ヒートポイント
1位=100点 2位=90 3位=81点 4位=73点 5位=66点
6位=59点 7位=53点 8位=48点 9位=43点 10位=39点
11位=35点 12位=31点 13位=28点 14位=25点 15位=23点
16位=21点 17位=19点 18位=17点 19位=15点 20位=13点
21位=12点 22位=11点 23位=10点 24位=9点 25位=8点
26位=7点 27位=6点 28位=5点 29位=4点 30位=3点
31位=2点 32位=1点 以下=0点
- ・ポイントペナルティがあった場合は、下位の順位のポイントまで減算される。但し、最下位ポイントを限度とする。その他の選手の順位の移動(繰上げ、繰下げ)はない。
- ・失格は最下位となる。ポイントも最下位ポイント(何人いても)となる(出走グリッド数に準ずる)。不出走者は最下位より1位以下の順位のポイントとなる。但し、0点を限度とする。

KRP Cadet KRP Junior

- ・予選ヒートを2回行い、それぞれに上記ヒートポイントを与える。
- ・グリッドは、予選1ヒートはTT、予選2ヒートは予選1ヒートの結果とする。

第38条：セカンドチャンスヒート

- ・セカンドチャンスヒートは予選を通過できなかった者の中から、プレファイナルに進む6台を決めるために行う。

第39条：決勝ヒート(ARTACHALLENGE プレファイナル含む)

- ・決勝ヒートは、予選ヒート及びセカンドチャンスヒートを通過した者全てが決勝に出場できる。グリッドは予選ヒートのヒートポイントによって決める。
- ・ARTA Challengeはプレファイナルの結果により決勝ヒートのグリッドを決定する。
- ・KRP Cadet、Juniorは獲得した予選ヒートポイントの合計により決勝のグリッドを決定する。
- ・周回遅れ及び周回遅れになろうとしているドライバーに対し、[青・赤旗(2重対角線で区分)]が示され、決勝ヒートから除外される。

第40条：スタート

- ・スタートはローリングスタートとする。
- ・スタートの合図は日章旗によって行われる。・但しコースにより灯火信号の場合もある
- ・ローリングラップの終了時、ドライバーは自分のポジションを保ち減速してスタートラインへ向かう。いかなるカートもスタートライン25m手前に引かれたイエローライン(加速ライン)を隊列の最前列が通過するまでは加速を禁止する。違反した場合はペナルティの対象となる。

全カテゴリーがクラッチ付きの為、低速で走行してもエンジンストールは起こらないので、先頭ドライバーは超低速で走行すること。

- ・競技長は、隊列が整いイエローライン前に加速をしていないと判断した場合、赤信号を消灯又は日章旗を振ってスタートの合図を行う。
ローリング中のイエローライン前での加速に問題がある場合、競技長はローリングを更に1周行われることを合図するために赤信号の灯火を続ける(消灯しない)。
- ・イエローラインに接近する段階で日章旗を静止して提示し、スタート前の最終的な隊列を形成させる為、イエローライン付近にパイロンを配置する。当該パイロンに故意に接触等したドライバーに対してはペナルティが課せられる事がある。
- ・ローリング中に隊列のペースを乱す者があった場合は白・黒旗が示される。フロントローでそれが繰り返された場合は最後尾に繰り下げられる場合がある。
- ・ローリング中、隊列から遅れた者が隊列の前に出て待つような行為をした場合、ペナルティの対象となる。
- ・ローリング中に隊列から大きく遅れ、競技長により指示された者及びローリング中にピットインした者と周回遅れの者は最後尾に着かなければならない。
- ・ローリング中にコースをショートカットすることは禁止とする。
- ・ローリング中にポール又はセカンドのカートが停止又は遅れてもローリングは続行される。その際は先頭にいる者にローリングのペースを保つ義務が生じる。
- ・再三不正スタート(フライング)があった場合には、競技長はスタート進行を中断するもしくはそのレースをスタートした後にその旨を大会審査委員会に報告する。
- ・コース委員長の指示によりローリングスタート合図をするが、その際かぶりによりエンジンが停止したり、かからなかった場合、速やかにピットに移動し、ピット作業エリアにて補助要員によるプラグ交換のみ認める。コース内での作業は一切認めない。
- ・ローリング中に停止した場合、全車両が通過するまで再スタートを試みてはならない。
- ・同委員会は、不正スタートをしたドライバーに対しペナルティを課すことができる。
- ・ローリング中、自分のグリッドを維持するのはドライバーの責任である。
- ・ローリング中、各コースが定める隊列復帰及び追い越し禁止区間を違反した者は何らかのペナルティを課す。
- ・スタート直後、先頭のカートが1周するまでにコントロールラインを越えないカートはそのヒートに出走することはできないものとする。

第41条：給油

- ・レース中の給油は全クラスにおいて禁止する。

第42条：レースの中断

- ・「JAF国内カート競技規則 カート競技運営に関する規定」第9章 第35条「レースの中断」に従う。
- ・赤旗提示の場合ドライバーは直ちにレースを中断し、オフィシャルの指示に従い、停

止できる体制でスタートライン手前まで徐行して停止する。その場合センターを開けて危険を回避することに努める。

- ・赤旗提示の場合、競技長の指示があるまでメカニックはグリッド上への介入および車両の整備を行ってはならない。
- ・グリッド上での燃料の給油及びケミカル類の使用は禁止する。

第43条：レースの終了及び順位の決定

- ・レース着順1位の者がフィニッシュラインを通過後2分以内にカートが自力で同ラインを通過した者はそのラップが加算される。完走者となる為にはチェッカーに関わらず規定周回数の1/2以上を完了していなければならない。
- ・レースの順位は以下の順序により周回数の多い順に決定される。
 - チェッカーを受けた完走者(規定周回数の1/2以上を完了しチェッカーを受けた者)
 - チェッカーを受けない完走者(規定周回数の1/2以上は走行したがチェッカーを受けなかった者)
 - 不完走者(チェッカーに関わらず、規定周回数の1/2以上を完走していない者)同一周回数の場合はその周回を先に完了(コントロールラインを通過)した者を優先する。

第44条：車両保管及び再車検

- ・「カート競技会運営に関する規定」第8章 第30条 第31条 第32条に基づきレース終了後に車検場にて再車検が行われる。
- ・技術委員長はスタートした全ての車両に対し検査を行う権限を持ち、検査を受けない場合は失格とする。
- ・車両保管エリア(パークフェルメ)に入場した車両には技術委員長より指示があった場合以外、一切手を加えてはならない。
- ・技術委員長より検査の指示があった場合エントラントもしくはその代理人が責任を持って車両の分解および組立を行わなければならない。
ただし関係役員、エントラントおよびドライバー以外は検査に立ち会うことはできない。
- ・車両保管終了後、エントラントは車両を速やかに引き上げなければならない。
- ・以上の項目に対する違反は競技長によって警告され大会審査委員会によりペナルティが課される場合がある。
- ・本条項の検査に応じない場合は失格とする。なお、車両及びエンジンの改造・点火剤・タイヤソフナーなどの悪質な不正が発覚した場合、ドライバー及びエントラントに対してシリーズ残りのレースを棄権していただく場合がある。

第45条：その他 競技に関する事項

- ・信号機は「カート競技会運営に関する規定」第3章に従うものとする。
- ・公式練習、タイムトライアルおよびレース中(フォーメーションラップを含む)、スピン等で車両が停止した場合は、他を妨害する事なく、後続車両通過後、またはコース委員の指示があり、自力で再発進できる場合にのみレースに復帰できるものとする。

KRP Cadetはエンジンが停止次第、競技終了とする。

- ・レース中はコースを外れてショートカットする事は認められず、当該行為はショートカットとみなされペナルティの対象となる。
- ・競技中リタイアしたドライバーは自分の車両を速やかに安全な位置に移動し、その

ヒートが終了するまでは「カート競技会参加に関する規定」第11条に規定する装備一式を着用していなければならない。

- ・ドライバーのサインは下記の通りとし、これを怠った者はペナルティが課せられる場合がある。

ピットイン・ピットアウトのサインは片手を高く上げる。

スローダウンするドライバーは片手を高く上げる。

コース上で停止した場合のサインは両手または片手を頭より高く上げる。

ローリング中、コース委員長の指示により更にもう1周追加された場合のサインは片手を頭より高く上げ、後続車両に教える事とする。

ミススタート旗が掲示された場合のサインは片手を高く上げ、スピードダウンをし、元のローリングスタート時のポジションに戻るものとする。

- ・工具を用いた修理等は指定されたエリア(ピットおよびパドック)以外は一切禁止とする。
- ・エンジンの暖機を禁止する。但し、始動チェックは認め暖機運転とみなされる行為を発覚した場合はペナルティを課す。
- ・消火器の携帯については各エントラントおよびドライバーは下記に示す消火器を1本以上備えなければならない。なお、パドックおよびピットでの火気厳禁に努めるものとする。

種類：ABC粉末タイプ

大きさ：4型(内容量1.2kg)以上

第5章 安全面に関する事項

第46条：ネックガード

- ・ドライバーが少しでも怪我等を防止できるよう、安全対策として以下のドライバー達にネックガードの装着を必備とする。

KRP Cadet：必備

KRP Junior：装着することを推奨する。但し小学生ドライバーは必備とする。

上記の対象ドライバーがネックガードを装着していない場合はペナルティを課す。

第6章

第47条：ピットクルー

- ・「カート競技会参加に関する規定」第18条に基きピット要員の行為に関する最終的な責任はエントラントに帰属するがレース中における場合はドライバーに直接統轄の責任があるものとする。
- ・ピットエリアで作業できるのは当該クラスに出場しているドライバーと登録されたメカニックのみとし、メカニックは大会総合事務局より指定されたクレデンシャルを装着していなければならない。
- ・走行レーンやダミーグリッドでの作業は一切禁止される。ただしダミーグリッドでのプラグ交換は可能。
- ・ピットクルーによる規定の違反で当該ドライバーに対し黒旗を提示する場合もある。

第48条：ピットイン・ピットアウト

- ・ピットインする場合はピットロードを徐行しなければならない、かつ必ずエンジンを停止しなければならない。違反した者に対してはペナルティを受ける場合がある。

第49条：ピット作業エリア

- ・ピット内においてエンジンをかける事は一切禁止とする。
- ・ピット、パドックおよびピット前において火気および発火物の使用ならびに喫煙・飲酒は禁止する。
- ・燃料の容器は20ℓ以内の消防法に適合した金属製の携行缶でなければならないものとする。

第7章 ペナルティに関する事項

第50条：ペナルティ

- ・ペナルティは次の6種類があり、適用については本紙特別規則書に基づくものとする。
 - 警告：その必要ありと認めた軽反則に対して発せられる。
 - 罰金：成績に対するペナルティ迄に至らない程度の違反に適用される。
 - (ドライバーズブリーフィング欠席または遅刻の場合等)
 - タイムペナルティ：失格にならない程度の違反に適用される。
 - ポイントペナルティ：失格にならない程度の違反に対し、予選・決勝ヒートに与えられる。
 - ラップペナルティ：失格にならない程度の違反に適用される。
 - 失格：下記の反則行為に課せられる。
 - 1) 規則に反してまたは不当に得たアドバンテージ
 - 2) 故意に自己または他人の安全を省みる事なく行う危険行為
 - 3) 与えられたオフィシャルの指示を故意に無視した際
 - 4) 与えられたフラッグサインの無視
- ・レース中の反則行為は、ドライバーを停止させる事なくペナルティを課す場合がある。
- ・大会期間中の違反に対するペナルティは、競技長が大会審査委員会に諮(はか)って同委員会によって決定される。
- ・大会審査委員会は状況に応じてペナルティを軽減したり強化したりすることができる。

ペナルティの例

- 1) 車検の遅れ(オーガナイザーが認めた場合。但し、公式練習まで)
- 2) 重量違反 当該タイムトライアルおよび当該ヒート失格
- 3) 燃料違反 失格
- 4) 服装違反 警告またはポイントペナルティ
- 5) 各ヒート終了時に「JAF国内カート競技車両規定」に定める必備の部分の脱落した場合(後方ナンバープレートを除く) 当該ヒート失格
- 6) 公式練習に参加しなかった場合 レース除外
- 7) フォーメーションラップ中の指定区間での追い越し、割り込み違反
当該ヒート失格
- 8) フォーメーションラップ中に隊列のペースを乱した場合(警告旗の後)
着順から3位下(3つ下)の順位ポイント
同行為をフロントローが繰り返した場合 最後尾に繰り下げ
- 9) スタート時のフライング(警告旗またはミススタート旗の後)
同行為をフロントローが繰り返した場合 1周減算
- 10) プッシング、極度のブロック(警告旗の後) ポイントペナルティ着順から3位下(3つ下)の順位ポイント。同行為が著しい場合 失格(以降のヒートも含

めて)

- 11) ショートカットとなるコースアウト 1周減算
 - 12) 黄旗時の追い抜き
 - ・(公式練習・タイムトライアル) タイムトライアルの結果に4秒加算
 - ・(予選・決勝ヒート) 1周減算
 - 13) 黒旗の無視 失格(以降のヒートも含めて)
 - 14) オレンジディスクのある黒旗無視 当該ヒート失格
 - 15) レース中のコース内での他者の援助(メカニックの立ち入り援助も含む)
 - (公式練習) タイムトライアルの時に4秒加算
 - (タイムトライアル・予選・決勝ヒート) 当該ヒート失格
 - 16) 工具携帯走行 失格(以降のヒートを含め)
 - 17) ピットロード徐行違反 警告
 - 同行為を繰り返した場合 当該ヒート失格
 - 18) 指定エリア(ピット、パドック)以外で作業した場合 警告
 - 同行為を繰り返した場合 当該ヒート失格
 - 19) ピット要員のオフィシャル指示に対する違反 警告
 - 暴力行為があった場合 レース除外(以後のシリーズも含めて)
 - 20) エンジン始動、作業違反 警告又は罰金
 - 21) コースに停止し、コース委員の指示に従わなかった場合、また後続車両通過前に再スタートした場合 警告
 - 同行為により他の事故を誘発した場合 当該ヒート失格
- これらを含み、その他のペナルティについては付則または公式通知等にて通知もしくは競技長によって勧告され、審査委員会により課せられる。

第8章 抗議に関する事項

第51条：抗議の提出

- ・「JAF国内カート競技規則」第13章 第40条に基づき書面をもって抗議料を添付の上、正式に登録されたエンタラントより競技長に提出するものとする。
- ・「国内競技規則」10-21に従ってなされた審判員の判定、計時装置および音量測定結果により課せられたタイムペナルティに対する抗議は認められない。
- ・提出された抗議により再車検等を実施し、その抗議が成立した場合には再車検等の要した費用ならびに組み立て費用は被抗議者であるエンタラント及びドライバーの負担とし、これと反対に当該車両等が規則通りのものであることが判明した場合は抗議提出者がそれらの費用を負担しなければならず、費用の算定については技術委員長に委ねられる。

第52条：抗議提出の制限時間および抗議料

- ・技術委員又は車両検査委員の決定に対する抗議は、決定直後とする。
- ・競技中の過失または反則に対する抗議は、その競技終了後30分以内とする。
- ・競技の成績に関する抗議は、暫定結果発表後30分以内とする。
- ・抗議料は制限格式以下20,300円(消費税含む)とする。

第9章 成績および賞典に関する事項

第53条：ポイント

- ・入賞者に対するポイントは大会総合事務局が独自のポイントを定める。
- ・本大会のドライバーに与えられる得点は下表を適用する。
- ・スポット参加のドライバーにはポイント獲得順位でチェッカーを受けた場合でもポイントは与えられません。但し、表彰式にて表彰はいたします。
- ・例えばスポット参加のドライバーが決勝ヒートを1位でチェッカーを受け、年間参加のドライバーが2位でチェッカーを受けた場合、1位のスポット参戦のドライバーにはポイントは与えられない、また2位の年間参加のドライバーには2位のポイントが与えられることとする。

ポイントは決勝ヒートの完走者にのみ与えられ、不完走者、失格者および不出走者には与えられない。

順位	得点								
1位	20	2位	15	3位	13	4位	12	5位	11
6位	10	7位	9	8位	8	9位	7	10位	6
11位	5	12位	4	13位	3	14位	2	15位	1

第54条：有効ポイント

- ・各クラスの有効ポイントは決勝ヒート全5ヒート中4ヒートの合計獲得ポイントとする。

第55条：シリーズチャンピオンの認定

- ・「日本カート選手権規定」第1章第7条に基き、有効ポイントの合計ポイントが最も多い者をシリーズチャンピオンとする。
- ・複数のドライバーが同一ポイントの場合、各ドライバーが得た上位入賞回数が多い順(1位の数・2位の数・3位の数、以下これに準ずる)に決定される。なお、順位も回数も同一の場合、最終戦の決勝ヒートにおいて上位順位を得た者を上位とする。

第56条：賞典

・シリーズ賞典

ARTA Challenge

- ・シリーズチャンピオンにはARTAサポートドライバーとして、翌年度のSRS-Fスクール参加の全額サポート、または国内・海外のどちらかのカートレース参戦の場合、300万円(税込み)のサポートが用意されます。

スカラシップを受ける者は、ARTAとサポートドライバー契約をかわすものとする。

スカラシップを受ける者は、レースにおいて使用するレーシングスーツ、ヘルメット、マシンにARTAが指定するエンブレム及びステッカーを貼り付けるものとする。

レーシングスーツにおいては、スカラシップを受けた年から3年間、ARTAが指定するエンブレムを貼り付けるものとする。

但し、2年目以降に関してはARTAとサポートドライバーの両者協議の上決定する。

スクールの参加をサポートした場合、参加費用を全額サポートするが、体験スクールやベーシックの段階で落ちた場合は、その時点でサポートを終了とする。

カートレース参戦をサポートする場合、300万円(税込み)のサポート費用はドライバーが所属するショップ又はエントラントに支払われる。

KRP Junior

・シリーズチャンピオンには翌年度カートレース参戦費用100万円(税込み)のサポート(ただし振り込み手数料は差し引きます)

- ・ **ARTA 賞**としてシリーズチャンピオンには、翌年度カートレース参戦の場合、フレーム1台、その他ARTAからのサポートが用意されます。スカラシップを受ける者は、レースにおいて使用するレーシングスーツ、ヘルメット、マシンにARTAが指定するエンブレム及びステッカーを貼り付けるものとする。

ARTAの発表会及びイベントに参加していただく場合がある。

KRP Cadet

・シリーズチャンピオンには翌年度カートレース参戦費用50万円(税込み)のサポート(ただし振り込み手数料は差し引きます)

- ・ **AUTOBACS 賞**としてシリーズチャンピオンには翌年度カートレース参戦の場合、フレーム1台、その他ARTAからのサポートが用意されます。スカラシップを受ける者は、レースにおいて使用するレーシングスーツ、ヘルメット、マシンにARTAが指定するエンブレム及びステッカーを貼り付けるものとする。

ARTAの発表会及びイベントに参加していただく場合がある。

上記の各クラスのスカラシップは KRP (ARTA)、ドライバー、エントラントの 3 者で協議をして決めることとする。

チャンピオンがスカラシップを辞退した場合、事務局で協議の上、次位の者にスカラシップを与える場合がある。

第10章 その他の一般事項

第57条：マシンステッカー

- ・全ての参加者は大会総合事務局が支給するカウルステッカーを貼り付けること。
- ・接触などで損傷した場合は各自で購入し貼り変える。

第58条：エントラント及びドライバーの遵守事項

- ・エントラントは自己の参加に係る全ての者にすべての法規及び規則を遵守させる責任を有する。
- ・エントラント、ドライバー及びピット要員は本統一規則の下で開催される競技会中に生じた事態についてコースの所有者、大会総合事務局及び大会役員に対していかなる責任も追及しない事。
- ・エントラント、ドライバー及びピット要員はスポーツマンらしからぬ行為、不謹慎な言葉遣い、あるいは競技を妨害する行為をとった場合、当該競技会失格とする。
- ・エントラント、ドライバー及びピット要員の肖像権及びその参加車両の音声、写真、映像など報道要員の放送、出版に関する権限を有し、この権限を第三者が使用することができる。

第59条：誓約書の署名

- ・エントラント、ドライバー及びピット要員はエントリー用紙に記載された誓約文に署名・捺印をしなければならない。

第 60 条：本規則の解釈

- ・本規則ならびに競技の細則に関する解釈に疑義が生じた場合は、大会審査委員会の決定を最終的なものとみなす。

第61条：負傷時の受診義務

- ・大会期間中負傷した場合、指定の病院にて診断を受けなければならない。
受診していない場合、保険の適用から除外される場合がある。

第62条：損害の補償

- ・参加者は参加車両およびその付属品ならびにコースの施設、機材、器具に対する損害の保証責任を負うものとする。
- ・エンタラント、ドライバー、ピットクルーはコースの所有者、大会総合事務局および大会役員が一切の損害補償の責任を免除されている責任を了解しなければならない。
- ・大会期間中、負傷した場合の保証は加入している普通傷害保険の範囲以内とする。

第63条：パドックについて

- ・当大会はドライバーがパドックで使用するテント(3m×3m)を全ドライバー分用意し設置まで行います。(予定)
- ・レース終了後はエンジンと一緒にテントをたたんで指定の場所へ返却して下さい。
- ・テント貸出中に、理由の如何を問わず万一破損した場合はKRPより修理費用が請求される。

第64条：大会総合事務局(KRP)の権限

- ・参加申込の受付に際して、その理由を示すことなくエンタラント、ドライバー、メカニックを選択あるいは拒否することができる。
- ・大会スポンサーの広告を参加車両に貼付させることができる。
- ・全ての参加者、ドライバー、ピット要員の肖像権およびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、出版に関する権限を有し、この権限を第三者が使用することを許可することができる。
- ・公序良俗に反する言動がある参加者に対しては、選手受付後であっても参加を拒否する事ができる。

第65条：大会総合事務局(KRP)からの連絡手段

- ・レース前のお知らせなど、KRP からの連絡は全てパソコンのEメールを使用します。
必ずEメールアドレスをKRPまでご連絡下さい。

第 66 条：途中棄権

- ・参加者側の都合で途中棄権した場合、その理由が如何なる場合でも参加費用の返金は致しません。
- ・レースに取り組む姿勢、マナー、などを KRP が独自に判断し、不適切とした場合には棄権していただく場合がある。上記の判断に対して一切の抗議を認めない。

第 67 条：途中参加

- ・途中参加は希望者がある場合その都度相談に応じます。但し、参加費用は全額支払って頂きます。

当特別規則書に記載されている内容は予告無く変更される場合があります。

注意事項 本規則書 第 27 条ボディワークの補足説明

2009 JAF 国内競技車両規則、第 2 章、第 7 条、3 項リアプロテクションの 13) 「如何なる状況下においても、リアプロテクションは、リアホイール水平面からはみ出してはならない。」に関しては準拠しません。

KRP Cadet 競技車両規則

シャーシ

シャーシはホイールベースが900mm以上のものとする。

基本骨格

- ・基本骨格とはカラー塗装された部分を指し、寸法・形状・材質の変更は禁止とする。
但し、エンジン・シートを搭載する為の形状の変更及び切断を認める。
- ・スタビライザー等の補助装置の追加装着は禁止。但し、純正品は認める。
- ・カラーリングの変更は認める。
- ・シートステーの溶接及びクランプ等の追加を認める。

車体装備

- ・フロアパネル、リア及びフロントバンパーはメーカー純正品のみとする。但し、シートは改造・変更とも自由とする。
- ・次の材質はカートを構成する全ての部分に使用は禁止とする。
チタン、複合素材（シートを除く）

ステアリング装置

- ・ハンドル及びハンドルの角度・長さ調整部品は純正部品以外の使用を認める。

ブレーキ装置

- ・フロントブレーキの装着は禁止する。
- ・ブレーキパッドは自由とする。

その他の装置

主要構成部品で純正部品以外の使用が認められるものは以下の通りとする。

ハンドル、サイドボックス及び取り付けステー、フロントパネル、フロントフェアリング、ゼッケンプレート、シート、チェーンガード、燃料タンク

但し、カウルに関しては以下の物以外の使用は禁止する。

- ・フリーライン製 C I K 0 3 / 0 8 (フロントフェアリング、サイドボックス、フロントパネル)
- ・K G 製 0 8 (フロントフェアリング、サイドボックス、フロントパネル)
- ・O T K 製 M 2 (フロントフェアリング、サイドボックス、フロントパネル)
- ・フリーライン製 ジュニアカウル新型
(フロントフェアリング、サイドボックス、フロントパネル)
- ・R R 製 ジュニアカウル05 (フロントフェアリング、サイドボックス、フロントパネル)
- ・その他のカウルは事務局までご連絡ください。

内容は予告なく変更する場合があります。